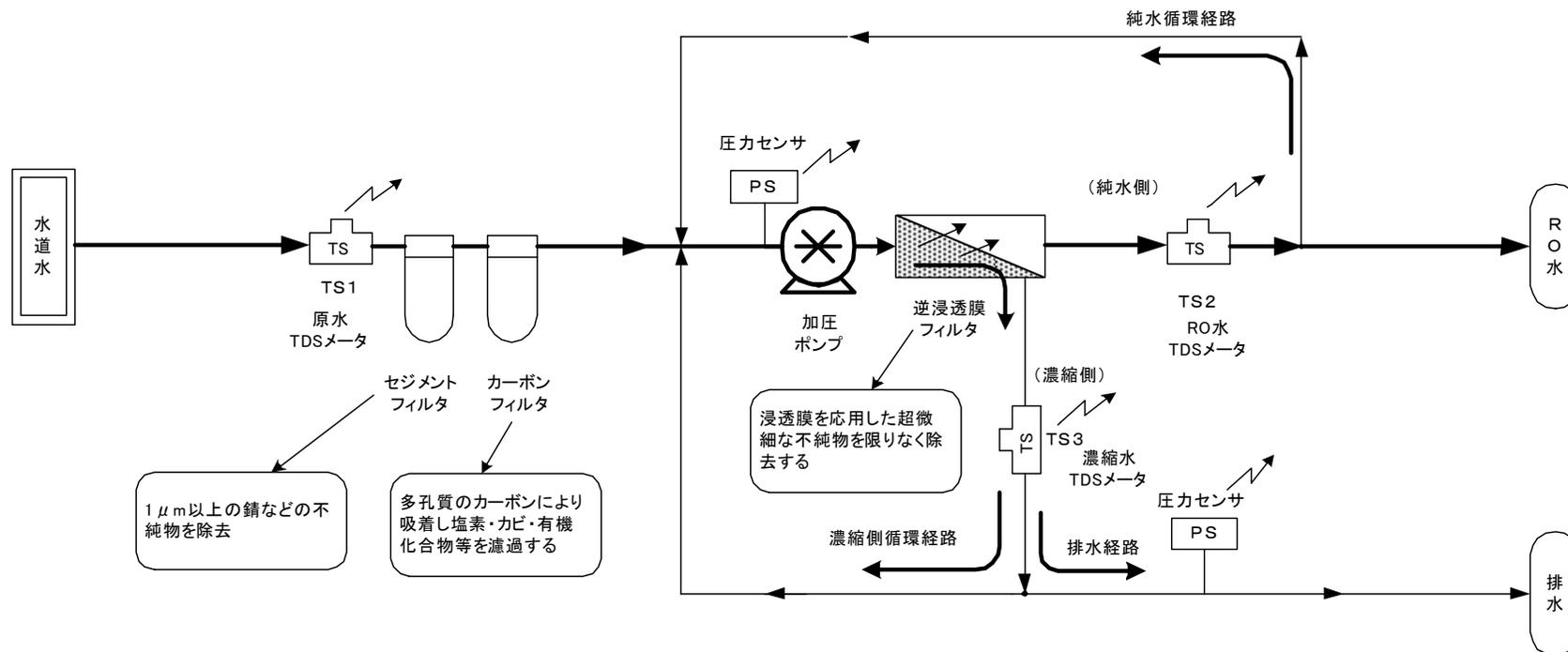
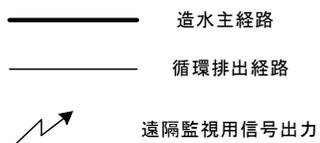


ECO-A (逆浸透膜を用いた純水造水装置) のフロー図



1. フロー図の説明

- 1) 水道水より供給された原水は、TDS メータを経由し前処理フィルタに送られます。
- 2) 前処理フィルタに送られた水は、セジメントフィルタによって1 μ m以上の錆等の不純物が除去され、次のカーボンフィルタにて塩素・カビ・有機化合物等が吸着除去されます。この2つのフィルタは目詰まり等を防ぐため定期的に交換しております。
- 3) 2)項にて処理された水は加圧ポンプにて加圧され逆浸透膜フィルタへ送られ、超微細な不純物が分離濾過された純水(RO水)になります。逆浸透膜によって除去された不純物は、濃縮側の適度な水流により洗浄され、排出されます。
- 4) 純水側と濃縮側の循環経路間の圧力差がなくなると、逆浸透膜の特性により微細な不純物が膜を通過し、RO水の純度を落としてしまうことがあります。この問題を防ぐ為、給水動作が無い時にも、一定の間隔で水を循環させ、いつでも純度の高いRO水の提供を可能にしています。

2. 衛生への配慮について

- 1) 給水の都度、内部に滞留している水を排水し、常に新しく濾過された純粋を提供しています(リアルタイム造水システム)。
- 2) 給水の都度、逆浸透膜フィルタをフラッシングという動作にて排水側に付着した異物を洗い流します。
- 3) 1日に5回、自動的にすべての経路の滞留水を排水し自動洗浄を行い衛生管理に配慮をしています。

3. メンテナンスの実施とリモート監視体制

- 1) 機種により期間は異なりますが全製品定期的にメンテナンスとフィルタの交換を行っております。
- 2) フロー図にも示して有りますように、各径路にTDSメータが組み込まれリモートによる逆浸透膜フィルターの不純物の除去率及び水圧などを24時間の体制で監視をしいています。異常があった場合は即座に対応が可能で、より安心してご利用していただけます。

以上、ご説明したように、ECOIAでは4つのシステムにより、原水である水道水をより安心して利用いただけます。

- (1) それぞれの造水プロセスにおける水圧や水流を適切に制御することで、除去された不純物の混入を防止し、
且つ、逆浸透膜フィルタの性能を維持するシステム
- (2) 定期メンテナンスと定期的なフィルタ交換によってシステムの正常な稼動を維持
- (3) お客様によるTDS値(総溶解不純物濃度)の日次チェックとフォームへの記録
(TDSとは、金属や塩素などの無機イオンの濃度をppmの単位で示した値)
- (4) サービスセンターによる24時間、365日の遠隔監視により、システムの正常稼動と定期メンテナンスの
実施状況をモニター、異常を検知した場合には速やかに対応